

スポーツ × 大学

下坂 三浦 高木

浜田市には. . .

・ベルガロッソいわみ

・ポルセイド浜田



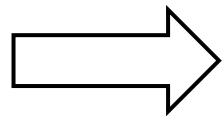
BELUGA ROSSO
IWAMI



PORSEID
HAMADA
2011-2018

プロスポーツを通して

- ①産業の活性化（飲食、宿泊、交通）
- ②地域の知名度の向上（観光客の増加）
- ③地域コミュニティの一体化（まとまりある町）
- ④子ども、若者への教育（プロとの交流）
- ⑤雇用創出（地域内の雇用）
- ⑥町づくり（交通整備、商業施設）
- ⑦健康促進、スポーツ文化（市民の健康へ）



島根県立大学との連携で実現へ

事例① 産業の活性化



<https://www.hkdballpark.com>

北海道日本ハムファイターズ

- ・ 2023年に北海道ボールパークFビレッジ（エスコンフィールド）を開業。

飲食：球場内にはクラフトビール醸造所をはじめとした、北海道の職を集めた横丁エリアも存在する。→試合がなくても集客が可能。

宿泊：球場内にはホテルが併設。周辺にもグランピング施設等を建設されており、球場に宿泊するという新しい需要を生み出し、活気づいている。

交通：現在は新千歳空港からの直行バスや、北広島駅からのシャトルバスの運行が主だが、将来的に新駅の設置を構想している。

プロスポーツチームというネームバリューを土台に、一つの観光地として完成させている。

浜田でここまでの規模は難しそうだが、球場プラスアルファは大事である。

https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/sports_future/look/pdf/002_06_00.pdf

事例② 地域の知名度の向上

茨城県 鹿嶋市（鹿島アントラーズ）

- ・ Jリーグ発足前は人口わずか4万人程度の小さな町だったものが、アントラーズの活躍により、毎日のニュースで「鹿嶋」という名前が連呼されるように。
- ・ かつて鹿島臨海工業地帯のイメージがついていた町が、強いサッカーチームの街というイメージに変わり、知名度が爆増した。

多種多様な試みも大事だが、一番は成績を残すことだと考えられる。

<https://www.city.kashima.ibaraki.jp/site/kashima/>

事例③ 地域コミュニティの一体化

松本山雅FC 長野県松本市



- スマイル山雅農業プロジェクト

「農地荒廃化」や「農業技術継承」といった課題に対して、松本市・松本市農業委員会・直売所障がい福祉サービス事業所と共同でプロジェクト発足

→収穫した「青大豆あやみどり」を小学生へ

<https://www.yamaga-fc.com/uploads/2020/05/smileagri.pdf>

事例④ 子ども、若者への教育

- ベルガロッソいわみ×自由研究

夏休みのベルガロッソいわみのホームゲームを観戦して思い出を自由研究にする。

<https://belugarosso2020.com/archives/12197>

→大学のグラウンドで試合ができると...
(三階、石見、松原、原井など)



事例⑤ 雇用創出（地域内の雇用）

（1）プロチーム立地による経済効果

近年、多くの雑誌にプロスポーツの経済効果に関する記事が掲載されている。特に現在もチーム数が拡大途上であり、今後の新たな市場の開拓が期待されているJリーグについては、様々な機会に経済効果の試算が公表されている。

図表4はJリーグのチームが地域に及ぼす経済効果であり、多いチームは40億円以上の経済効果が見積もられている。ただ、チーム間の格差は大きく、図表4においても経済効果にはかなりの差がある。前述のようにJリーグはJ1とJ2に分かれているが、どちらかというところを本拠地にするチームが多いJ2は、J1と比較して収入面で差が大きくなっている（図表5参照）。

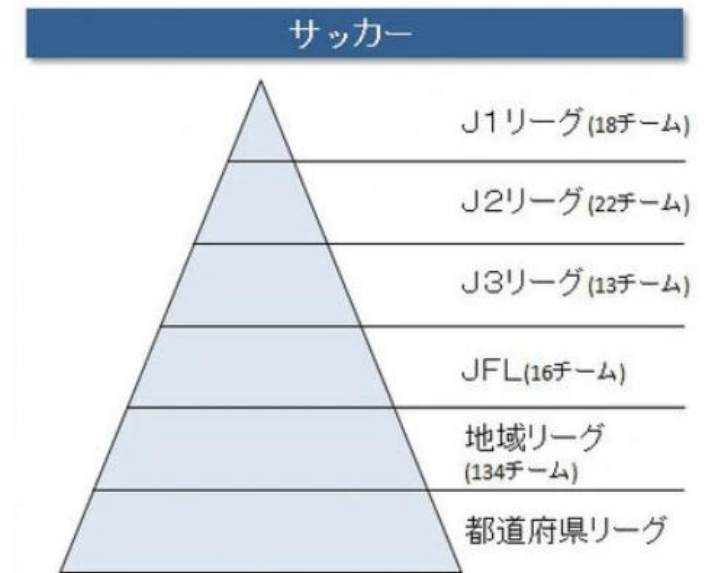
図表4 Jリーグチームが地域に及ぼす経済効果

チーム名	経済効果	雇用効果	税収効果	スタジアム改修による効果
ベガルタ仙台(J1)	約41億円	374人	約8,000万円	約4億1,000万円
川崎フロンターレ(J1)	約33億円	299人	約5,000万円	約3億9,000万円
ヴァンフォーレ甲府(J1)	約17億円	320人	約3,000万円	約1億4,000万円
ガンバ大阪(J1)	約41億円	340人	約9,000万円	
愛媛FC(J2)	約5億円	57人	約800万円	約7億円
大分トリニータ(J2)	約25億円	322人	約4,000万円	約1億5,000万円

（出所）「スポーツビジネスを核とした地域活性化フィジビリティ調査」経済産業省関東経済産業局（平22.3）36頁

◀スポーツによる地域活性化
～直接の効果と外部経済効果～
8頁抜粋（著.筒井隆志）

https://www.sangiin.go.jp/japanese/annai/chousa/keizai_prism/backnumber/h24pdf/201210201.pdf



事例⑥ 町づくり（交通整備、商業施設）

●交通機関、宿泊施設等との連携

オフィシャルホテルプログラム

横浜DeNAベイスターズ

- ホテル横浜ガーデンは、スタジアム近傍の立地条件等から、球団肖像等を使用したサービスを展開できるオフィシャルホテルプログラム契約を球団と締結し、ベイスターズをテーマとしたサービスを実施。
- ベイスターズの装飾を施したコンセプトルームの宿泊と観戦チケットをセットにしたパッケージツアー（神奈川県及び東京都以外の来場者には優待あり）や、ライブビューイングを提供。
- 球団の「横浜スポーツタウン構想」におけるスポーツツーリズムの推進に資する取組みとして、横浜の魅力創出を目指す。

●コンセプトルーム



出典：横浜DeNAベイスターズ公式HP、ホテル横浜ガーデンHP

●試合中及び前後のイベント

アフターゲームショー、カフェトーク

松本山雅FC

- アフターゲームショー：イオン(イトインコーナー)で試合終了後に、試合の振り返りや解説を行いながら、チームスタッフと参加者でトークを楽しむイベント。
- カフェトーク：喫茶山雅にてファン・サポーターとともにお茶を飲みながら選手とトークを楽しむ、チームや選手を身近に感じてもらうイベント。2018年シーズンは計15回開催。
- チームスタッフや選手とのコミュニケーションにより、身近にクラブを感じてもらい、新規・リピート観戦者につなげる。

●アフターゲームショー



出典：松本山雅FC公式HP

事例⑦ 健康促進、スポーツ文化 (市民の健康へ)

「Jリーグ介護予防事業」は、各Jクラブがさまざまなプログラムを提供している。サッカーをはじめとした各種スポーツ教室、健康体操、ウォーキング、栄養講習、そしてボランティアへの参加など、その内容は多彩。各自の体力、スケジュールなどに応じて、楽しく、自由な雰囲気の中で健康、体力を見直すことができる。参加者の明るい表情、講師・スタッフとの元気な会話、さわやかな汗は「スポーツで、もっと、幸せな国へ」歩んでいることを実感させる。(J.LEAGUE NEWS vol.139 抜粋)

<https://www.jleague.jp/img/aboutj/document/jnews/138/volo138.pdf>

↑ J.LEAGUE NEWS vol.139

川崎フロンターレ

川崎フロンターレが運営するフットサル施設、フロントウンさぎぬまでは「青空いきいきウォーキング&健康体操教室」「青空はつらつエアロビクス教室」が開催されている。フットサルコートの上で歩き方やエクササイズを専門の講師が指導。川崎市の60代女性は「この教室で習った歩き方を意識し、つまづくことも少なくなった」と効果を述べた。

© J.LEAGUE PHOTOS



© J.LEAGUE PHOTOS



プログラムの前後にはもちろん、入念にストレッチを行う。フロントウンさぎぬまの人工芝コートも「気持ちがいい」と参加者に好評だ

湘南ベルマーレ

浦和レッズ

浦和レッズが運営するレッズランドでは、6月3日に「健康チェックin レッズランド」が行われた。浦和のトップチームの選手も実施したユニークな身体測定や、高齢者でも気軽に参加できる指先トレーニング、動体視力測定など。さいたま市の61歳女性は「選手と同じメニューに挑戦できたのは、本当に楽しかった」と参加の感想を語ってくれた。



© J.LEAGUE PHOTOS

独特のメニューとスタッフの診断に、ちょっとしたアスリート気分

徳島ヴォルティス

6月10日、J2リーグ戦の徳島ヴォルティス対ザスパ草津戦の前に鳴門・大塚スポーツパークボカリスエットスタジアムで行われたのが「徳島ヴォルティス スポーツ健康教室」の阿波おどり体操。徳島の選手も参加し、芝生のピッチでリズムに合わせて体を動かした。参加者からは「これからもこういう屋外での楽しいイベントに参加したい」の声が上がっていた。



© J.LEAGUE PHOTOS

さすが徳島の皆さん、踊りは玄人はだし

— 目的 —

島根県立大学のグラウンドを整備することで

学生・市民・プロチームの交流の拠点をつくり

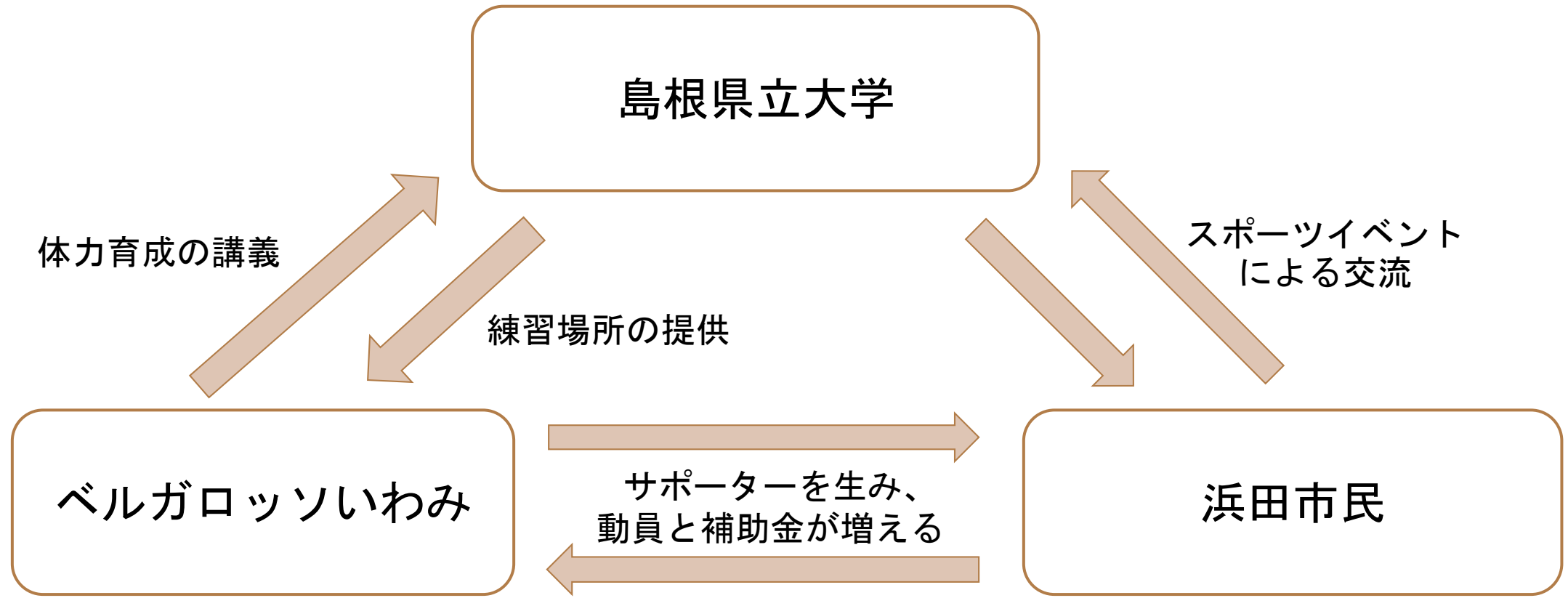
浜田市にプロスポーツを浸透させる！

— 提案 —

(1) 島根県立大学のグラウンドの整備

(2) 体育の授業の復活

グラウンドを整備し、体育の講義を復活させることによるメリット



グラウンド整備のメリット

【大学】

- ・ 体育系サークルによるグラウンドの活用
- ・ 体育の講義を復活させることが可能に、生徒の心身の健康促進
- ・ 海遊祭で出来ることが増える？
- ・ ベルガと協力したグラウンドの維持が可能。

【ベルガロッソ】

- ・ 駐車場が広く、使用料のかからない練習場を使える
- ・ 練習中に市民に見られる回数が増えると、接点の増加に繋がる。
- ・ 試合会場への移動の負担が少ない。
- ・ 大学生との接点生まれ、ファンの獲得が可能。

【市民】

- ・ 町内運動会などのイベントで利用できる
- ・ 犬や猫の散歩やウォーキングに使いやすくなる(健康促進)

体育の講義のメリット

【大学】

- ・ 学生同士のコミュニケーションをサポートするといった教員の仕事の削減
- ・ トレーニンググループの稼働率が上がる
- ・ 講義の存在自体が大学のアピールポイントになる
- ・ 学生の運動不足の解消の1歩に

【ベルガロッソ】

- ・ 試合の宣伝ができる
- ・ チーム経営について学んだ学生が、直接関わらずとも、クラブを支える人材になる可能性。
- ・ 講義の内容次第では、学生が集客やPR等で協力出来る可能性。

【市民】

- ・ 学生とベルガが協力した、健康教室やスポーツイベントへの参加?

課題

- 人工芝や照明の設置、整地等にかかるコストが大きい。
- 練習中、講義中の騒音問題。
- 運動が苦手な学生（身体の悪い）や、サッカーがあまり好きではない学生でも単位の都合上履修する必要がある可能性がある。→苦痛な時間に。
- 開催時期によっては、ベルガの本来の活動に割く時間が減ってしまう可能性がある。→本末転倒。

体育の講義の復活

- ベルガロッソの選手・コーチを非常勤講師として招待。

→サッカーの実技はもちろん、できれば他のスポーツや、チームの運営についてや、スポーツにおける戦略の考え方等の講義を開講してもらおう。（体育という名前ではなくなりそう、スポーツ学のようなものに）

Ex. WEリーグの三菱重工浦和レッズレディースでプレーするFW 安藤梢は、現役選手としてピッチに立つ一方、筑波大学の助教として教壇に立つ“二刀流”の道を歩んでいる。

受け持っている授業▶プロスポーツマネジメント論、
トップスポーツ論、サッカー

[\(プロ選手と大学助教の“二刀流” 40歳超えても成長...原点は「学び」 \(FOOTBALLZONE\) - Yahoo!ニュース\)](#)

W181352	サッカーコーチング論 演習I	2	2.0	3	春AB	月2,水3	中山 雅雄,小井土 正亮,安藤 梢	サッカーに関する先行研究を検討し,技術,戦術, 体力について理解を深め,各自の研究課題に取り 組むための基礎を習得する	対面
W181362	サッカーコーチング論 演習II	2	2.0	3	秋AB	月2,水3	中山 雅雄,小井土 正亮,安藤 梢	サッカーに関わる研究課題に対してそれを検討す るための具体的な方法を習得する.	対面
W181372	サッカーコーチング論 演習III	2	2.0	4	秋AB	木1,2	中山 雅雄,小井土 正亮,安藤 梢,高 柳 昂平	サッカーの関する各自の研究テーマを設定し,卒 業論文としてまとめるために必要な能力を習得す る	対面

筑波大学 教育課程編成支援システム

今後の展望

- 体育の講義の進め方(シラバス)を具体的に考える。(どんな人でも履修しやすく)
- 課題の解決方法を考える。
- 市民へのメリットをもう少し考える。

グラウンドの使用

佐藤美佳

竹廣修吾

所舜斗

背景

・大学の地域連携ニーズ

大学には施設や人材といった資源があるものの、それらが十分に地域へ還元されていないケースが多い。特に、大学と地域をつなぐ「場」の不足は、連携を一過性のイベントにとどめてしまう要因となっている。

・大学グラウンドに付加価値をつける

単なる学生利用にとどまらず、地域に開かれた活用ができれば、大学の社会的価値向上にもつながる。

大学を使用する意味

- **社会貢献**（地域社会・経済社会・国際社会等、広い意味での社会全体の発展への寄与）を教育・研究に加えて**大学の「第三の使命」**として位置づけることができる

[1. 基本的事項：文部科学省](#)

- 地域が持続的に発展するためには、人と人の繋がりや交流は、非常に重要であると考えます。その交流を促進するためには、交流の場や機会が必要である。その**機会と場の提供**を担う

[関西大学新キャンパス構想にかかる 地域貢献の今後の方向性と課題10552.Pdf](#)

大学生と地域の子供が関わる意味

• 大学生が子供の身近なロールモデルになる

大学生は子どもにとって「少し先の未来を生きる存在」であり、身近なロールモデルとして寄り添うことで、子どもたちが自分の将来やなりたい姿を考えるきっかけを提供できる。

[大学生が子どもに関わる意味 - 子どもの貧困・教育格差の解決を支援する | CFC \(2011/11/18\)](#)

• 地域の子育てを担う

地域の子育てを担う人材不足を補うアクティブ・プレイヤーとして大学や大学生が有する企画力・実践力が期待されている

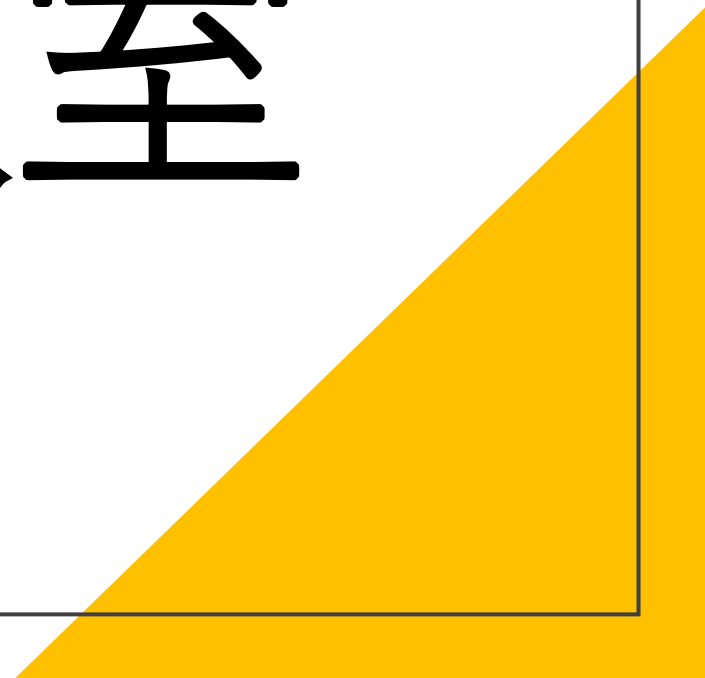
• file:///C:/Users/mika/Downloads/CV_20251210_kato.1.pdf (大阪商業大学)

• 子供の居場所となる

子どもたちは、いっしょに遊び、気軽に話ができ話を聞いてもらえるといった学生との関わりを通して、学校とは異なる安心できる関係性を求めている。

https://www.jstage.jst.go.jp/article/uekusad/15/0/15_33/_pdf (植草学園大学)

スポーツ教室



概要

- 大学のグラウンドを使用し、大学生と提携しているベルガロッソの選手が**地域の子供にサッカーなどのスポーツを教えるもの**
- スポーツ少年団・クラブに**貸し出し**
- 定期開催（月に2回程度）

対象

- 地域の子供（小学生～高校生）
- 大学生（運動系サークル所属、ボランティア）
- ベルガロッソ（大学と連携している）

運営体制

- 大学内に**学生主体の運営団体を設立**し、地域サッカークラブ「ベルガロッソ」と連携して運営する。
- ベルガロッソは選手によるスポーツ指導や練習メニューの作成を担当する。
- 学生は参加者募集や保護者対応、受付、安全管理などの運営サポートを行う。
- **学生は事務作業やサポートなどの裏方に専念**し、ベルガロッソの選手と小学生を主役にする。

運営方法：スケジュール

- スポーツ教室は**月に2回程度の開催**を予定している。
開催日の決定は、**前月にベルガロッソと日程調整**を行う。
- 日程確定後は、**地域や学校へのチラシ配布やSNS、アプリを活用して参加者を募集**する。
その後、**参加者へ開催日程を連絡**する。
- 当日は学生が受付や安全管理を担当し、ベルガロッソが指導を行う。
開催後は振り返りを行い、**次回の運営改善につなげる**。

運営方法

準備

- 宣伝（詳細は後ほど）
- 応募者の管理や当日のスケジュールや参加費の告知
- 県大サッカー部のインスタなどで質問の受付など
- タイムスケジュールや人員配置などのマニュアル作成
- ベルガロッソの選手たちとの打ち合わせ
- 保険加入などの事務作業
- 大学生だけでのリハーサル、備品チェック

運営方法

本番

- 受付・案内
- タイムキーパー・全般的なサポート
- トラブル対応や保護者対応

運営方法

本番後

- アンケート調査
- 片付け
- 振り返りと記録
- お礼メッセージや各種SNSでの発信

集客方法（宣伝）

- 浜田市の小学生の保護者が入れているあぷり「すぐる」の活用により、小学生本人だけでなく、その保護者にもイベント日程を伝える
- 浜田市の各家庭に届く「広報はまだ」「まちかど伝言板」などを使用
- 小学校やクラブへのチラシ配布
- 浜っ子LINEクラブ
- 大学・ベルガロッソなどの公式SNS

メリット

①地域貢献・大学の存在感向上

- ・大学グラウンドを地域に開放することで、地域に根ざした公立大学としての役割を果たせる
- ・SNS発信により活動が「見える化」される

②教育系でなくとも学生の成長につながる

- ・学生は指導ではなく運営を担当
- ・企画力・調整力・対人対応力など社会人基礎力が身につく

メリット

③ 外部団体との連携による質の確保

- ・ベルガロッソの選手が指導を担うことで専門性を補完
- ・学生は安全管理・進行サポートに集中できる

④ 既存施設を活用した現実的な企画

- ・既存の備品や以前開催した際のノウハウを活用できる。

デメリット・課題

① 学生の負担が大きい

- 準備から事後対応まで学生主体
- 学業・アルバイトとの両立が課題

② 専門性が弱いと見られる可能 (※)

- 教育系大学と比べると
- 「大学でやる意味」が分かりにくい

デメリット・課題

③ 継続性の確保が難しい

- 学生の入れ替わりによりノウハウが継承されにくい
- 単発イベントで終わる可能性

④ 参加者確保の不確実性 (※)

- 地域ニーズと合わない場合、参加者が集まらない

デメリット※②④について

②専門性が弱いのではないか

→スポーツ教室のサポートではなく、「運営」がメインであるため、地域政策学部にとっては**地域に関わる・地縁を持つ**という点で**専門性がある**と言える。

④参加者確保の不確実性

→以前、海遊祭で開催した後から**再度の開催を求める声が多数ある**ため、一定程度の参加者数は見込める。

類似例①専修大学

- ・専修大学体育会地域貢献活動「ONE DAY TEAMMATE」大学の設備を使ったスポーツ教室を年に1度開催している

種目

合気道	剣道	水泳（競泳）	テニス	ローラースケート	少林
寺拳法	空手	弓道	居合道	山岳体験	水球

- ・一斉開催ではなく、競技ごとに開催日時を指定している。開催にあたり、大学側が傷害保険に加入

類似例②東京学芸大学

- ・「こどもの健全育成」「学生教育・人材育成」「地域貢献・地域間交流」が大きなテーマであり、地域サッカーの活性化を目指す
- ・東京学芸大こども未来研究所が運営し、東京学芸大学サッカー部のコーチ・現役選手がコーチングスタッフとして指導するサッカー教室
- ・毎週火、金曜日に開催し、幼児クラス・小学生クラスで分かれている

東京学芸大学の取り組みによる効果

①将来教員になる学生による指導

教員免許を取得家庭であり、教育学を学び教育実習などを通してこどもとの関わり方を学んでいる学生が指導。教員の卵がこどもと関われる環境

②専門的知識を伝えられる

「運動生理学」「健康科学」「スポーツ心理学」などを学び、アスリートにとって小学生の時期から取り組むべき習慣を伝える

③競技レベルの高い学生による指導

高校年代まで上位レベルでプレーしてきた学生が多数。

高度なテクニックを実演しながら近所のサッカーが上手いお兄さんのような感覚

島根県立大学では

東京学芸大学では、サッカーを「教える」ことがメインであるため、一見関係ないように思える

⇒「教える」ことを学ぶ教育学部と「**運営**」を学ぶ**地域政策学部**では、学ぶことの意味は異なるが、意味のある取り組みである

類似例③

大阪商業大学 公共学部公共学科

- ・「公共とスポーツマネジメント」の学び

スポーツをビジネスとして捉える視点や普及方法、スポーツによる地域活性化、社会貢献の在り方を学ぶ



写真元：大阪商業大学公共学部公
共学部公共学科ピック
アップ授業

類似例

- 専修大学 <https://www.senshu-u.ac.jp/sports/onedayteammate/>
- 東京学芸大学 <https://indigo160380.studio.site/>
- 大阪商業大学
https://ouc.daishodai.ac.jp/faculty/public_affairs/course.html